

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

第3期(2023.6.1~2024.5.31) 事業計画

サポやまのミッション（何をする団体か？）

山形の社会をよりよくしたいと活動する人や団体(組織)のために、市民の参加を応援したり、NPOの自立による持続可能な活動をサポートしたりする。

サポやまのビジョン（どのような社会を目指すか？）

人が互いを大事にし、尊重し合う関係性が基盤となる豊かな市民社会の実現。

サポやまの活動における原則

1. 信頼の原則

「自分の力を社会の役にたてたい」と頑張る人や組織には、社会を変える力があることを信じ、いきいきと活躍できるサポートを行う。

2. 互敬の原則

人を大切に、互いに尊重し合う関係性を築く。

第3期事業計画書の作成にあたって

設立以来、NPO法人市民社会サポートやまがたは市民活動、NPO活動、地域づくりの中で、地域活性化・組織サポート・人材育成などの事業に取り組んでいます。

かかわる人たちの当事者性を大切に、引き出し、ポジティブな変化を起こし、市民目線での解決策を探り、自主・自律を促すことを軸にサポートしていくことが、サポやまの特長です。

そうしたことも踏まえ、第3期の事業計画書をつくりました。

今期は、以前より取組みたかった山形県のNPO等にヒアリングによる実態調査を行います。

また、市民活動・地域活動に関わりやすくなり、活動者、担い手を増やすための人材育成・講座の開催も行います。

この事業計画書では、今期の事業の大きな方針を示しました。

各事業の詳細については担当者間でより詰めていきたいと思えます。

2023年度の活動においては以下の事業を重点に実施します。

(1) 環境整備事業

市民や市民活動・地域活動団体の自律のために調査・研究を行い、環境や制度を整える。

- ①課題の可視化により、課題への認識を社会に共有する、山形県にNPO等の実態アンケート調査
内閣府HP掲載のNPO財務状況調査から財務状況・情報開示をしているNPO法人及びやまがた社会貢献基金採択団体（任意団体も含む）にヒアリング調査を行い、山形県内で活動する市民活動・地域活動団体が抱える運営・財務上の課題を明らかにする。調査結果はまとめ、考察を行い、報告会を実施する。

- ②山形県における持続可能な組織運営のグット・プラクティス20の選出と情報発信
調査の中から、ファンドレイジング・人材育成・地域連携に優れた団体取材し、web等で情報発信する。
※①②は、令和5年度山形県NPO活動促進補助事業一般型「NPO等の実態調査と事務力セミナー・NPO検定による組織基盤強化事業」として実施する。

(2) 人材育成事業

自ら考え行動する力をつける「学びの機会」をつくる。

NPO等の団体・個人向け人材育成プログラムの実施により、個人や組織の自律をサポートする。

- ① 令和5年度山形県NPO活動促進補助事業テーマ型「学ぶ・つながる・行動する「活トレ」(市民・地域活動のためのトレーニング)」
山形県内で市民活動・NPO活動・地域づくりに取り組む団体向けの連続セミナー『市民活動・地域活動のトレーニング・活トレ』を開講。めざす地域や社会の姿を見据えた活動の「計画」を立てることをゴールとし、基本的な知識を学ぶレクチャーに加え、グループワークやディスカッションなど、参加型・対話型のセミナーにより学びを深める。
さらに、サボやまのメンバーなどが期間を通じて参加団体と一緒に学び合いを開催し、個別の伴走支援を行う。
- ② 令和5年度山形市コミュニティファンド支援事業「地域女性がつながり・まなび・とものつくる・なりわひ起業家養成事業」
「好きなこと」と「地域の資源・地域のささいな困りごと」をかけあわせて小さな仕事づくりをめざす講座。自分自身が本当に好きなことを深掘りしていくなかで、「商品・サービス」を企画し、感謝と対価を得る仕事を作ることをめざす。
カリキュラムは基調講演、全3回の連続講座と実践発表会と交流会。

(3) 伴走型中間支援の実施

組織・個人へ伴走をおこない、課題解決までサポートする。

- ①相談・ヒアリング：個別案件に対して、課題のほり起こし
- ②個々のプロジェクトにおける、課題の可視化により、目標設定と担い手の強化
- ③プロジェクトに対して、ファシリテーションを行ったり、裏方として活動したり、バックオフィスによるサポートの実施
- ④課題解決のしくみの実現。
安定化までの継続的な支援と、そのプロジェクトの評価各主体が、連携しそれぞれの役割を果たしていく。

(4) 組織運営に関して

- ①サボやまの活動にかかわる人を増やす。
サボやまの活動の幅を増やし、より大きな社会的成果を生み出すため、サボやまの仲間づくりの機会を増やしていく。
- ②サボやまの活動を関係者・関係機関に伝えていく。
サボやまがどのような団体で、何を行っているのかに対する情報発信が不十分だったことから、ホームページ・SNS・紙媒体での情報発信も積極的に行っていく。ステイクホルダーづくりの強化

事業に関する目標

(1) 相談・コンサルティング

個別相談、継続的な団体運営サポートなど。ひとつひとつのケースに応じた丁寧な相談対応と、経験と記録の積み重ねを行う。

目標値：相談件数 50 件 継続的な支援を行う団体運営サポート数：10 団体

分類	対象	目的	内容
個別相談	社会をよりよくしようと活動している人や組織。営利・非営利、行政・民間、法人格の有無は問わない。	団体や個人が活動を行う上で抱える困りごとや課題の解決のサポートをすることで、その団体・個人の本来の活動を促進させる。	活動上の課題等についての個別相談。1回1時間程度で随時実施する。
目標達成サポート			法人化、寄付集め、助成金申請、事業計画作成、報告書作成など、目標を決めて、目標達成までの継続的サポートを行う。
運営支援サービス			団体の運営について1年単位での継続的な個別サポートを行う。毎月の訪問と、随時の対面・ZOOM・メール相談を実施する。

(2) 社会参加・課題解決のしくみづくり

市民活動団体・NPO との連携推進、地域での協働推進を行う。

目標値：ネットワークの支援 3 件

(3) 調査・情報提供

①調査

NPO法人・任意団体等にヒアリングを行い、社会的課題の可視化を図っていく。

目標値：山形県内のNPO等の実態アンケート調査 80団体

グッドプラクティス団体の情報発信 20団体

②助成金情報や組織基盤強化の情報の提供。

目標値：団体助成金情報の提供と申請サポート 10 団体

(4) 人材育成・ネットワークづくり

講師派遣・講座・交流会の開催など

目標値：講師派遣 5 件 講座の開催 10 件 勉強会・交流会の開催 5 件

分類	目的	内容
講座の開催	NPOの組織基盤強化、ボランティアや市民活動に関わる人のスキルアップを図る。	資金調達や、組織評価・組織マネジメント等のテーマで講座を開催する。ボランティア・市民活動などの基盤づくりの講座の開催。
講師派遣	市民活動を担う人のスキルアップを図る。	要請に応じて、研修などの講師派遣を行う。
勉強会・交流会等の開催	ステークホルダー間での問題意識や情報の共有、ネットワークづくりを行う。	テーマやニーズなどに応じて、勉強会や交流会などを開催する。

(5) 組織運営に関する目標

①会員・ボランティア

会員やボランティアの参加を募り、サポやまの活動を通して社会づくりにかかわる機会を増やす。

②寄付

個別支援を強化したり、連携先を増やしたりすることで、関係団体に寄付を呼びかける。

③広報

パンフレットを作成し、サポやまの団体情報をわかりやすく伝えられるようにする。

ホームページ・SNS を積極的に使い、サポやまが取り組んでいる事業を関係者に伝えていく。

④理事会

原則として3カ月に、1回理事会を開催し、日常的には ZOOM、SNS で情報共有・意見交換をすることで、機動的な組織運営を行っていく。また、必要に応じ、役員間での打合せやケースカンファレンスを行う。

⑤認定 NPO 法人取得

認定 NPO 法人取得を目指す。認定取得までの手続きや準備については、できるだけ記録を残し、他団体の支援にもつなげられるようになる。